



Atlas Quiet Mini Server Case

User's Manual
Manuel de l'utilisateur
Anwenderhandbuch
Manuale per l'operatore
Manual del usuario
取扱説明書

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがあります。ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

このマニュアルはAntecのコンピュータケース用手引書としての使用を目的としています。マザーボードと周辺機器の取り付けに関するより包括的な説明については、コンポーネントおよびドライブに同梱されているユーザーマニュアルを参照してください。

Atlasユーザーマニュアル

Atlas — 静音ミニサーバーケース

このケースには、550ワットEPS12V電源が搭載されています。この電源には、メイン電源スイッチが搭載されています。初めてコンピュータを起動する前に、必ずスイッチをオン (I) の位置にしてください。電源にソフトオン/オフ機能が備わっているため、通常はスイッチをオフ (O) 位置に切り替える必要はありません。ソフトオン/オフ機能により、コンピュータケースのソフトスイッチを使って、コンピュータのオンとオフを切り替えることができます。コンピュータがクラッシュした場合やソフトスイッチを使ってシャットダウンできない場合は、メインパワーをオフ (O) 位置に切り替えて、問題を解決し、再起動することができます。

ヨーロッパ連合向けに製品のみに関する情報：

この電源には、欧州規格規制コードEN61000-3-2に従って力率改善回路(PFC)が搭載されています。入力電力波形の変更により、PFCは電源の力率を改善します。これにより、エネルギー効率の増加、ヒートロスの低減、配電および電力消費機器の寿命の延長、出力電圧の安定性の向上が実現されます。高効率設計と80mmの静音ファンに加えて、この電源はよりクリーンで静かな動作環境を提供します。

セットアップ

1. 平らで安定した面に、ケースを垂直に置きます。
2. **注記 (ヨーロッパ連合向け製品には該当しません。)**：取り付けの前に電源の電圧設定の赤いスイッチを確認してください。お住まいに地域の電圧に一致している必要があります。(北米、日本等は115V、ヨーロッパその他の国は230V)。電圧が一致していない場合は、こちらのスイッチにて変更してください。こちらを正しく設定品場合は、お手持ちの機器の故障の原因となり、保証が無効になることがあります。
3. 右側のサイドパネルから手回しネジを緩め、サイドパネルを取り外してください。**備考：危険ですので、爪を使ってパネルを取り外したり、持ち上げたりしないでください。**
4. ケースの内側に、電源、コネクタ(USB、PWRなど)が付いた配線、および取り付け済みのI/Oパネルと電源コードがあります。また、部品袋には、ねじ、真鍮スパーサー、プラスチックスパーサー、ドライブレール等が同梱されています。
5. ベゼルの左側には、3つのプラスチックタブがあります。こちらはフロントベゼルの金属シャーシに固定するものです。上から順にタブを外し、ベゼルの外してください。

- ベゼルを約45度開き、ゆっくりとベゼルを持ち上げてください。これによりフロントベゼルを簡単に取り外すことができます。外したフロントベゼルは、安全な場所に置いてください。

マザーボードの取り付け

このマニュアルはCPU、RAM、および拡張カードの取り付けについては対象としていません。特定の取り付け指示およびトラブルシューティングについては、マザーボードのマニュアルを参照してください。

- 開いている側を上に向けてケースを置きます。ドライブケージと電源が確認できます。
- お手元のI/Oパネルが、正しくマザーボードに対応することを確認してください。ケースと一緒に提供されるパネルがマザーボードに対応していない場合、正しいI/Oパネルについてマザーボードメーカーにお問い合わせください。
- マザーボードとスペーサーの穴を合わせて、どの穴が合うのかを覚えておきます。すべてのマザーボードが、設置された穴のすべてを使用するわけではありません。これは正常で、機能への影響はありません。マザーボードを持ち上げて取り外します。
- マザーボードを取り外してください。
- 真鍮のスペーサーを、マザーボードに合うネジ穴にねじ込みます。スペーサーを締めすぎないでください。一部のスペーサーは、便宜上、事前に取り付けられています。
- マザーボードを真鍮のスペーサー上に置きます。
- 付属のプラスネジを使って、マザーボードをスペーサーに留めます。これでマザーボードの取り付けが完了しました。

電源とLEDの接続

このケースには、Antec TruePower 2.0 (TP2-550EPS12V) 電源が搭載されています。この電源は、EPS12Vに対応し、4ピンの取り外し可能な24ピンメインパワーコネクタ、8ピンの+12V、マザーボード用4ピンの+12Vコネクタが搭載されています。また、4つのSATA電源コネクタ、5～7つの周辺機器用4ピン電源コネクタ、1～2つのFDD電源コネクタ、1つのPCI Expressグラフィックカード電源コネクタが搭載されています。お手持ちのマザーボードが20ピン電源コネクタを利用する場合、24ピン電源コネクタ上の4ピンアタッチメントを外します(写真1と2を参照)。電源をいずれかのデバイスに接続する前に、マザーボードやその他の周辺機器に対応するユーザーマニュアルを参照してください。

- 必要に応じて、24ピンメインパワーコネクタおよび4ピンまたは8ピンコネクタをマザーボードに接続します。マザーボードが20ピンコネクタを使用する場合、24ピンパワーコネクタ上の4ピンアタッチメントを外します(写真1と2を参照)。HDDや光学ドライブ等の周辺機器に電源コネクタを接続してください。
- リセットスイッチ(RESET SWのラベル付き)を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。ラベルが常にケース前面を向く状態にします。
- 電源LEDコネクタ(POWER LEDのラベル付き)は、リセットコネクタの後方に配置されています。
- 電源スイッチ(POWER SWのラベル付き)を、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
- ハードドライブLED(H. D. D. LEDのラベル付き)をIDEコネクタに接続します。

写真1



写真2



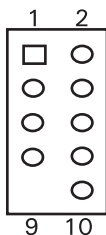
24ピンマザーボード 20ピンマザーボード

USBポートの接続

フロントUSBポートに取り付けられているケーブル上には、10ピンコネクタが1つあります。これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようにになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

注記： USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

マザーボードピンレイアウト



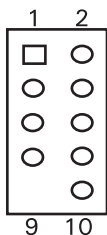
ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

IEEE 1394 (FireWire®、i.Link®) ポートの接続

フロントIEEE 1394接続に取り付けられているケーブル上に、10ピンコネクタが1つあります。これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようにになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

注記： IEEE 1394ヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。

フロントパネルIEEE1394コネクタ用ピン割り当て



ピン	信号名	ピン	信号名
1	TPA+	2	TPA-
3	接地	4	接地
5	TPB+	6	TPB-
7	+12V (ヒューズ付き)	8	+12V(ヒューズ付き)
9	キー(ピンなし)	10	接地

オーディオポートの接続

フロントパネルスピーカーおよびマイクロフォン接続から出ている、Intel標準10ピンコネクタ(コネクタ付きの個別ワイヤーを7本持つ)があります。マザーボードがIntelの標準オンボードオーディオコネクタをサポートする場合、10ピンコネクタをボードに直接差し込むことができます。対応していない場合には、7本の線を個別に接続する必要があります。以下の説明をご参照ください。

マザーボードまたはサウンドカードからの内部オーディオコネクタを探します。ピンアウトの位置については、マザーボードまたはサウンドカードのマニュアルを参照してください。

1. マイクロフォン信号ピン: MICコネクタをこのピンに接続します。
2. マイクロフォン電源: MIC-BIASコネクタをこのピンに接続します。
3. 接地ピン: AUD GNDコネクタをこのピンに接続します。
4. フロント右スピーカー出力ピン: FPOUT-Rコネクタをこのピンに接続します。
5. フロント左スピーカー出力ピン: FPOUT-Lコネクタをこのピンに接続します。
6. リア右スピーカー出力ピン: RET-Rコネクタをこのピンに接続します。
7. リア左スピーカー出力ピン: RET-Lコネクタをこのピンに接続します。

HDDの取り付け

外部用5.25”ドライブベイの直下にHDDケージが取り付けられています。ケージ内のトレイを利用し、HDDを取り付けることが可能です。

1. セットアップの説明に記述されている通り、フロントベゼルを取り外します。
2. 2つ手回しのネジを緩め、ファンケージを開き、ゆっくりとケージを上を持ち上げ取り外してください。
3. トレイ両端にあるメタルクリップをつまみ、トレイを引き出してください。
4. 付属の特殊ネジをシリコングロメットに通し、ハードドライブをドライブトレイに装着します。注記: ネジを締めすぎないでください。ネジを締めすぎると、ゴムグロメットによる振動とノイズの低減機能が損なわれます。
5. トレイをスライドさせてケースに戻し、固定します。
6. 電源上の小さい4ピンパワーコネクタを探し、それをデバイス上の4ピンオスコネクタに接続します。
7. 必要に応じて、他のデバイスでも同じ手順を繰り返します。
8. HDDケージをケースに戻してください。オプションのフロント92mmファンをケースに取り付ける場合は、ここで装着してください。詳細については、「冷却システム」に記載された指示を参照してください。

5.25インチデバイスの取り付け

4つの外部5.25インチドライブベイがあります(1つは5.25インチ-3.5インチ変換アダプタ付きです)。ドライブベイを覆う、金属プレートを注意して取り外してください。

1. 2つのプラスチックドライブレールを外し、5.25”デバイスの両側に取り付けてください。ドライブレール上の前方のネジ穴を使用して取り付けてください。レール端の金属の部分が外側に開いていることを確認してください。
2. 「カッチッ」と音がするまで、デバイスをドライブベイに押し込んでください。
3. 他のデバイスも同様に取り付けます。
4. 電源からの大きな4ピンコネクタを、各デバイス上の4ピンオスコネクタに接続します。

フロッピーディスクドライブやその他の3.5” デバイスを5.25” から3.5” への変換アダプターを使用し取り付けの方法:

1. アダプターを引き出してください。
2. デバイスを同梱されているネジを使用して、アダプターに取り付けてください。
3. フロッピー用の4ピンパワーコネクタをデバイス側のメス4ピンコネクタに接続してください。

冷却システム

TriCool™ファン

Atlasには、120mm TriCool™ファンがあらかじめ1つ装備されています。

このファンには3段変速スイッチが搭載されており、静音、性能、または最大冷却のいずれかを選択できます。(下記の仕様を参照。)ファンは空気がケースから吹き出るように取り付けます。電源からの大きな4ピンコネクタを、ファン上の4ピンオスコネクタに接続します。**注記:**ファンのデフォルト設定は[低]です。最高の静音コンピュータ環境を実現するには、この速度をお勧めします。

注記: ファン起動の最小電圧は5Vです。ファンをファン制御デバイスに接続する場合、または一部のAntec電源に装備されているFan-Onlyコネクタに接続する場合は、ファン速度を[高]に設定することをお勧めします。ファン制御デバイスは、電圧を変えることでファンの速度を調節します。開始電圧は、4.5~5Vまで低くすることもできます。[中]または[低]に設定したTriCool™をファン制御デバイスに接続すると、ファンを起動できない場合があります。すでに引き下げられたファン制御デバイスからの電圧は、TriCool™回路によりさらに5V未満に抑えられます。

仕様:

サイズ:	120 x 120 x 25.4mm
定格電圧:	DC 12V
作動電圧:	10.2V~13.8V

速度	入力電流	空気の流れ	静圧	音響ノイズ	入力電力
高 2000RPM	0.24A (最大)	2.24 m ³ / min (79 CFM)	2.54 mm-H ₂ O (0.10インチ- H ₂ O)	30 dBA	2.9 W
中 1600RPM	0.2A	1.59 m ³ / min (56 CFM)	1.53 mm-H ₂ O (0.06インチ- H ₂ O)	28 dBA	2.4 W
低 1200RPM	0.13A	1.1 m ³ / min (39 CFM)	0.92 mm-H ₂ O (0.04インチ- H ₂ O)	25 dBA	1.6 W

フロント92mmファン

このケースには、内部3.5” ドライブ前部のHDDケーシングに2つのオプション92mmファンの取り付けが可能です。フロントファンは、空気がケース前面から内部に吹き込むように取り付けます。Antecでは静音パフォーマンスに優れ、最大限の冷却を実現する92mm TriCool™ファンをお勧めします。商品詳細については、ウェブサイトをご覧ください。**備考:** ファンスピードは賢く選択してください。多くの場合、mediumあるいはlowスピードであっても十分に必要な冷却力を提供できます。

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
US

tel: 510-770-1200

fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Sydneystraat 33
3047 BP Rotterdam
The Netherlands

tel: + 31 (0) 10 462-2060

fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC

customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060

europe.techsupport@antec.com

www.antec.com

© Copyright 2006Antec, Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of their respective owners.

Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited.

Printed in China.

Version 1.0.1 01/26/2006